TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエスの 7 つの「私は…である」「私は門である」
ヨハネによる福音書 10 章 1–10 節

2026 年 2 月 21 日 & 22 日
神永 譲(ジョエル) 牧師

はじめに
TBC 渋谷キャンパスに集っている皆さん、そしてスバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、TBC-三郷、TBC-ウェスト トウキョウの皆さんにご挨拶いたします。

今週末の焦点は、ヨハネによる福音書に記されているイエスの 7 つの「私は…である」です。このシリーズの三回目のメッセージに入りました。そして、私が語る機会をいただくたびに、このテーマであるイエスの「私は…である」を一つずつ取り上げながら探っていきます。

イエスはこう語られています
1. 私が命のパンである。(ヨハネ 6:35)
… 2025.12/27,28
2. 私は世の光である。(ヨハネ 8:12)
… 2026,1/31, 2/1
3. 私は門である。(ヨハネ 10:9)…本日のメッセージ
4. 私は良い羊飼いです。(ヨハネ 10:11)
… 2026,5/2,3
5. 私は復活であり、命である。(ヨハネ 11:25–26)
6. 私は道であり、真理であり、命である。(ヨハネ 14:6)
7. 私はぶどうの木(ヨハネ 15:5)

今週は、3 つ目の「私は…である」を取り上げます。イエスはこう言われました。「私は門である。」

ヨハネによる福音書 10:1–10
「[1] よくよく言っておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。[2] 門から入る者が羊飼いである。3.門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。4.自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、付いて行く。5.しかし、ほかの者には決して付いて行かず、逃げ去る。その人の声を知らないからである。」6.イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。7.イエスはまた言われた。「よくよく言っておく。私は羊の門である。8.私より前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。9.私は門である。私を通って入る者は救われ、また出入りして牧草を見つける。10.盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。」

祈りましょう。

実例:私たちの生活にある「門」
私たちは普段あまり意識していませんが、門やドアは日常生活の中でとても大きな役割を果たしています。ここに来るまでの間に、皆さんの中にはすでに 6 つか 7 つの門やドアを通ってきた方もいるでしょう。たとえば、寝室のドア、トイレのドア、家の玄関、駅の改札、あなたの車のドア、バスのドア、そして教会のドアなどです。

通り抜けるためには、事前に支払いが必要な門もあります(公園、映画館、ディズニーランド、スポーツ観戦、そして高速道路など)。書類の提出を求められる門もあります(入国審査や税関のゲートなど)。さらに、指紋認証や顔認証が必要な門もあります。入ることを非常に制限されている門もあり「関係者以外立入禁止」と記されていて、誰でも入れるわけではありません。

ここまでは、手で触れることのできる目に見える門について話してきました。しかし、もう一つ別の種類の門があります。それは目には見えず、手で触れることもできない門 です。あなたはその門が開いているのか閉じているのかは分からず、その門の持ち主との関係が必要です。私はこれを「関係の門」と呼びたいと思います。あなたの心への門、そして私の心への門です。私はこの門はイエスが述べている種類の門だと確信しています。

「私は…である」と言われるイエス
神はご自身の名を「私はいる」とはっきり啓示されました。旧約聖書の出エジプト記 3:13～15 で、モーセにイスラエルの民を奴隷状態から解き放ち、エジプトから導き出すよう召された時です。イエスが新約聖書でご自身に同じ名前を使われた時、文字通りそして実際に自分は神と同等であるとし、そして自分は神であると明らかにしています。イエスは明確に宣言しているのです。「旧約の時代に「私はいる」として現れた神が、今ここにおり、あなたに語っている。」

背景
ヨハネによる福音書 10 章:1-10 節、そしてその後の 11-21 節まで読み進めると、イエスが語られた二つの「私は…である」が出てきます。「私は門である」そして「私は良い羊飼いです」イエスは、これら二つの説明をご自分のこととして明言されました。この二つの説明は共に作用しています。二つは切り離すのが難しいですが、それぞれに違いがあるため、最初に「私は門である」を見ていき、次回の私のメッセージで二つ目を取り上げたいと思います。イエスは、この二つそれぞれを通して、私たちに深い真理を示しています。

世紀イスラエルの羊の囲い
羊の囲いとはどのようなものだったのでしょうか。それは立派な建物ではないけれど、積み上げた石で大まかに連なった頑丈な囲いでした。そして、出入り口は一つだけ。そこが「門」です。昼間、羊飼いは羊を連れて野原に行き、草を食べさせます。日が沈むころになると、羊飼いは羊を羊

の囲いへと連れて帰ります。囲いに入る時は門番が彼らのために門を開け、そして羊飼いと彼の羊の群れは中に入ります。この羊の囲いは共同利用されていました。つまり、複数の家族がそれぞれの羊の群れを夜の間同じ囲いに入れて守っていたのです。そのため、羊飼いが来たときに門を開ける門番が必要だったのです。

イエスが「門」であることについての二つの主要ポイント

ヨハネ 10:9「私は門である。私を通って入る者は救われ、また出入りして牧草を見つける。」

イエスは 7 節と 9 節で二度、「私は門である」と語っています。聖書の訳によっては「門」ではなく「戸」と訳されているものもありますが、意味も働きも同じです。イエスのこの「私は…である」について、皆さんと考えたいことが二つあります。一つめは、イエスは羊の囲いに入るための唯一の門であるということ。二つ目は、イエスはご自分の羊に救いと安全、そして満たしを与えてくださるということです。

1. イエスは羊の囲いに入る唯一の門である

ジョン・ペニーレジオンは著書『イエスの「私は…である」宣言』の中で、スコットランドの旧約学者 ジョージ・アダム・スミス卿 にまつわる興味深い話を紹介しています。スミスは 1800 年代後半から 1900 年代初頭にかけて、スコットランドで旧約聖書学の教授を務めていた人物です。中東を旅していたとき、案内人とともに一人の羊飼いとその羊の群れに出会いました。羊飼いはスミスを、夜になると羊を入れておく囲いへ案内しました。その囲いは、柵を四方に組んだだけの簡素なもので、一ヶ所だけ出入り口がありました。しかし、そこには扉も門もなく、ただの開いたスペースがあるだけでした。羊飼いはスミスにこう話しました。夜になると羊は皆その囲いに入り、自分が「門」となるので、羊たちは完全に守られているのだと。これは羊飼い自身が使った言葉でした。彼はクリスチャンでもなく、聖書の表現を意識していたわけでもありません。それでも彼は自然にこう言ったのです。「私は門なのです。」そして羊飼いは続けました。「日が暮れて、羊がみな囲いに入ったら、私はこの入口の開いた場所に横になります。羊が外に出ようとすれば、必ず私の体を越えていかなければならず、狼が入ろうとすれば、必ず私の体を越えてこなければならない。「私は門なのです。」(出典:ジョン・ペニーレジオン『イエスの「わたしは…である」宣言』2021, p. 28

羊飼いと羊が羊の囲いに入るための門は、ただ一つしかありません。同じように、神の国へ、永遠のいのちへ、そして天国へ入る門もただ一つです。その門は、神の御子イエス・キリスト以外にないのです。

ヨハネの福音書は、最初から最後まで、この福音の真理を一貫して描いています。ここで、イエスが唯一の門であることを示すいくつかの聖書箇所を見ていきましょう。

ヨハネ 1:12-13「12 しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。13 この人々は、血によらず、肉の欲によらず、人の欲にもよらず、神によって生まれたのである。」

ヨハネ 14:6「イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。」

このイエスの説明は、「私は…である」宣言の中の一つです。この箇所については、時が来たときに改めて焦点を当てていきます。

ヨハネ 20:30-31「30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じて、イエスの名によって命を得るためである。」

ヨハネの福音書が書かれた目的は、あなたも私もイエスを信じるようになるためなのです。

率直に言えば、キリストがいなければキリスト教は存在しません。もしキリストがいなければ、救いも、罪の赦しも、永遠の命も無いのです。

人々は、「神へ至る門はたくさんある」と言います。しかし、敬意をもって言わせていただくと、神が御言葉の中で示されたことによると、門はただ一つで、そしてその門とは、神の御子イエス・キリストです。イスラム教の創始者ムハンマドは、神の国への門ではありません。仏教の創始者ブッダも、神の国への門ではありません。
シク教の創始者グル・ナーナクも、神の国への門ではありません。儒教の孔子も、神の国への門ではありません。道教(タオイズム/ダオイズム)の創始者である老子も、神の国への門ではありません。日本で生まれたどの宗教団体の創始者も、神の国への門にはなれません。また、マリアも、ローマ教皇も、聖人たちも、神の国への門ではありません。門であるのは、ただ一人、イエス・キリスト、神の御子だけです。

門へと導く実践的な歩み

・2026 年 東京でのアウトリーチの機会

今年は 5 つの海外宣教チームが私たちと協力してくださり、来月 3 月から始まります。私たちは彼らと共に、祈り歩き(プレイヤーウォーク)、福音の宣教、高齢者施設の訪問、入管施設の訪問、ホームレスミニストリーのお手伝い、英会話カフェ(English Café)の開催、そしてキッズテーブルでの奉仕などを予定しています。
案内のパンフレットは後方に置いてあります。さあ、TBC の皆さん、共に行きましょう!

・TBC シニア・フェローシップ

日時: 3 月 13 日(金)12:00~14:30
この集まりは、TBC で「自分はシニアかな」と思う方、そして「いや、まだシニアじゃないよ」と思う方も含め、どなたでも参加できます。クリスチャンの友人も、まだ信仰を持っていない友人も、ぜひお誘いください。チラシは後方に置いてあります。
TBC の皆さん、今すぐお申し込みください!

・メンズ・ブレックファスト・フェローシップ

日時: 3 月 14 日(土)9:00~11:00
このフェローシップは、独身・既婚を問わず、すべての男性が対象です。参加を予定している方は、ぜひお友だちもお

誘いください。次の学びの本はオズワルド・サンダースの霊的リーダーシップです。男性の皆さん、何を待っているのですか。今すぐ登録しましょう！

・グッドニュース・クラス
日時: 毎週日曜日 11:00～12:30
場所: カンファレンスルーム
イエスについて、そして「良い知らせ(福音)」についてもっと知りたい方は、ぜひご参加ください。信者の方も大歓迎です。福音についての理解をさらに深められるだけでなく、どのように福音を分かち合うか も学ぶことができます。

・ジョイ カフェ
日時: 毎週日曜日、9 時礼拝と 11 時礼拝の後
ジョイカフェは、個人的な形で「良い知らせ(福音)」について知ることができる素晴らしい場所です。教会メンバーの皆さんにとっては、ここでの奉仕はとても良いミニストリーです。まだクリスチャンでない方も、ぜひお越しください。ここでは男性も女性もあなたをお待ちしています。

・TB ウエストトウキョー周辺でのプレイヤーウォークと伝道
日時: 毎月第 1 日曜日　14:00～15:00
この素晴らしいアウトリーチの機会に、ぜひご参加ください。私たちは地域を歩きながら、人々がイエスを知ることができるように祈り、また、与えられた機会に応じて 福音を分かち合います。TBC の皆さん、来月ぜひご参加ください！

・福音伝道トレーニング ワークショップ(Class 402)
日時:3月1日(日)13:00～16:00
未信者の方に福音を伝える方法を学ぶことが出来ます。今すぐ申し込んでください！

2. イエスはご自分の羊に、救い・安全・満たしを与えられる
ヨハネ 10:9-10「9 私は門である。私を通って入る者は救われ、また出入りして牧草を見つける。10 盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。」

2.1 イエスは救いを与えられる
イエスはこう言われました。「だれでも、私を通って入る者は救われ…」この「だれでも」という言葉を聞きましたか。別の訳では「だれであっても」とあります。文化、人種、言語、社会的・経済的背景、宗教的な所属に関係なく、すべての人が招かれているのです。しかし、すでに見てきたように、イエスを通って入らなければなりません。イエスの最初の約束は、「その人は救われる」つまり救いです。これはどういう意味でしょうか？
これはあなたが罪の罰から解放されること、あなたが赦されること、永遠のいのちが与えられること、イエス・キリストを通して神と個人的な関係を持つようになること、を意味します。

私は自分がその門を通って入った瞬間を今でもはっきり覚えています。それは、ほぼ 40 年前のことでした。聖書の学びに参加した後、小さな自分の部屋で、イエスを信じ個人的な主、救い主として受け入れることで、その門を通って入る決心をしたのです。そのとき人生で初めて、私の心の内に平安が訪れ罪からの解放を経験しました。

あなたはどうでしょうか。あなたは、その門を通って入りましたか。門がまだ開いている今、イエスはあなたに「入りなさい」と招いています。もし門が閉じられてしまえば、どんなに努力しても入ることはできません。泣いても、文句を言っても、叫んでも、もう遅いのです。飛行機に乗り遅れた人を知っています。ゲートがすでに閉まっていたからです。本当に気の毒に思いました。しかしその人は、同じ日に別の航空会社でビジネスクラスに乗ることができました。一つのゲートは閉じられましたが、別のゲートが開かれたのです。そこには恵みがありました。しかし、やがて夕暮れの時が来ると、その門は閉じられ、二度と開かれることはありません。ひょっとしてあなたは今日までこの門への招待を無視してこられたかもしれません。恵みがまだ与えられている今、あなたは神の国の羊の囲いに入りますか？

2.2 イエスは安全を与えられる
イエスはこう言われました。「だれでも、わたしを通って入る者は…出入りができ…」イエスが、ご自分を通って入る者に与える第二の約束は、「その人は出入りができる」ということです。では、この言葉はいったい何を意味しているのでしょうか。一言で言えば、これは「安全」を表しています。ジェームズ・ボイスはこう説明しています。「イエスの時代、人が恐れなく「出入りできる」ということは、その国が平和であり、支配者が国の状況をしっかり治めていることを意味した。危険が迫ると、人々は町に閉じこもり、包囲されてしまう。したがって、イエスはご自身を信頼する者に安全を約束しておられるのである。」(出典:ジェームズ・ボイス「ヨハネの福音書」, pp. 745–746)

イエスと共に歩むことは、問題のない人生、苦しみのない人生、危険のない人生を意味するわけではありません。私たちがこの世にいる限り、さまざまな脅威や嵐に直面し続けます。しかし、勇気を出してください。私たちは今の人生においても、そして来るべき永遠の人生においても、イエスのうちに守られているのです。いつでも絶え間なく安全なのです！

実例:ALSOK — “Always Security OK!”
私たちが 246 号線を走って家に帰るとき、よく「ALSOK」と書かれたバンやトラックを見かけます。運転手も、その隣に座っている人も、警察のような制服を着ていて、しっかり武装しているように見えます。とても頼もしく、かっこいいですよね。「ALSOK」という名前は、“Always Security OK!”(いつでも安全 OK) を意味していることを知りました。もしあなたの家や会社が彼らのセキュリティサービスを利用していれば、何か起きたときにはすぐに駆けつけてくれます。オンラインで監視もしてくれるようです。素晴らしいサービスに聞こえます。しかし、キリストに在って私たちは常にその場に安全があり、常に有効で、そして本当に “Always OK” なのです。

2.3 イエスは満たしを与えられる

イエスはこう言われました。「だれでも、わたしを通って入る者は…牧草を見つける」イエスがご自分を通って入る者に与える第三の約束は、「その人は牧草地を見つける」ということです。羊は、導いてくれる者がいなければすぐに迷ってしまいます。一日中豊かに草があり、満たされる場所を自分で見つけることはできません。羊飼いは羊をどこへ導けばよいかを良く知っています。イエスの羊の囲いに入ったあなたには、イエスが必要を十分に満たし、心が満ち足りるようにしてくださいます。イエスはこう言われました。

「私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。」(ヨハネ 10:10)

私たちは、達成した成果、学歴、お金、性、地位、旅行といったものの中に、永続する満足を見つけることはできません。本当の満足はイエスのうちにしか見いだせません。なぜなら、あなたの心が深く求めているものが神の御言葉に沿った願いであるなら、それを満たすことができるのはイエスおひとりだけだからです。今、あなたは自分の人生に満足していないでしょうか。もしそうなら門であるイエスを通って入ってください。

結論

もう一度お聞きします。あなたは、門であるイエスを通って、羊の囲いに入りましたか。入るのをためらう理由は何でしょう。イエスはあなたを待っておられます。今、入りましょう。

祈りましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:**cc@tokyobaptist.org**
もしくは:**https://t-b-c.us/cc**

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg0726jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
2月22日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 402
キリストの伝え方
3 月 1 日(日)1:00pm – 4:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 まで修了した TBCメンバーの方

全クラス申し込み: https://t-b-c.us/classes